

公安委員会定例会議(第21回)の開催状況

第1 日 時 令和8年8月26日(水)
午後2時10分 ～ 午後3時38分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長、
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和8年第20回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(3) 審査請求の申立て

警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。

(4) 警察職員等の援助要求(4件)

生活安全部、刑事部及び警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

(5) 猟銃等所持許可の取消処分に関する聴聞結果、処分内容

生活安全部から、猟銃等所持許可の取消処分に関する聴聞結果、処分内容について伺いがあり了承した。

(6) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、16件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 令和8年上半期におけるサイバー犯罪の現状と対策

生活安全部長から、令和8年上半期におけるサイバー犯罪の現状と対策について報告があった。

委員から「インターネットの普及により、今は誰もがサイバー犯罪の被害者となり得る時代である。ウイルス対策ソフトの導入やパスワードの徹底管理など、県民に広く対策を周知し、被害の未然防止に努めていただきたい」との発言があった。

委員から「警察署では、管内の企業を回ってサイバー犯罪の被害防止に向けた啓発活動を実施していただいているが、大変心強い。被害を少しでも減少させるため、各種対策を継続されたい」との発言があった。

委員から「サイバーパトローラーとして委嘱した大学生の通報から、検挙に繋がった事例があると聞いたが、引き続き、インターネット環境

の中で育った『若い力』と連携した抑止対策に努めてほしい」との発言があった。

(2) しまなみ海道における危険運転致死傷事件被疑者の逮捕

交通部長から、しまなみ海道における危険運転致死傷事件被疑者の逮捕について報告があった。

委員から「複数の死傷者を生じさせた悪質で危険な運転者の逮捕は、捜査員の綿密な捜査と熱意によるものである。その労をねぎらいたい」との発言があった。

委員から「今事件の逮捕は、運転する者にとっても、安全運転への警鐘、意識改革になると思われる。本年7月に施行された危険運転致死傷罪の改正を踏まえ、今後も適正に捜査を進めていただきたい」との発言があった。

委員から「機器類の解析や目撃者の確保など、綿密な捜査により逮捕に至った功労を称えたい。引き続き、危険な運転をする者の検挙に努め、道路交通の秩序を維持していただきたい」との発言があった。

(3) 外国人技能実習生の失踪状況及び対策

警備部長から、外国人技能実習生の失踪状況及び対策について報告があった。

委員から「外国人への対応は語学が要になることから、通訳人や翻訳機器の効果的な活用により、適切に対応していただきたい」との発言があった。

委員から「外国人の失踪事案が減少傾向にあることは、警察と受入企業等との連携によるものであり良いことだ。今後も全国規模で連携を強化し、対応を推進されたい」との発言があった。

委員から「来年の4月に外国人労働者制度が改正されるが、新しい制度には良い面もあれば、課題もあると考える。関係機関と連携しながら、発生した課題に的確に対応されたい」との発言があった。

(4) 訟務案件に関する報告

警務部から、訟務案件に関する報告があった。

(5) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等実施結果、同書面警告実施結果

生活安全部から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等実施結果、同書面警告実施結果について報告があった。

以 上